

FFG

FREE
¥0
ご自由にお持ち帰りください。

ディスクロージャー誌

2014

あなたのいちばんに。編

特集

～人生第二のシュウカツ～

60歳からの『終活』を考える



My Town Vol.9



天草編

海と歴史と伝統が
彩る、寛ぎの
島時間へ

時代の変化を見据え、これからも
持続的な成長を目指して

トップメッセージ

グランドマイバンク

ATMが
さらに便利に!

住まいるな話

『ゆとりッチ』な空間

平成25年度の

業績ハイライト

FFGの社会的責任

CSRレポート



あなたのいちばん。に。

”一輪の花“に想いをのせて
私たちが被災地へ届けたいこと

Contents

- 03 トップメッセージ
時代の変化を見据え、
これからも持続的な成長を目指して
- 05 特集 ～人生第二のシュウカツ～
60歳からの『終活』を考える
- 13 ライフステージと
FFGの商品&サービスラインナップ
- 15 グランドマイバンク
- 17 ATMがさらに便利に!
- 19 FFG TOPICS
- 21 CSRレポート2013-2014
Focus on 『東日本大震災被災地復興ボランティア』活動
環境共生活動
生涯学習支援
ユニバーサルアクション
- 26 FFGが提案するステキライフ
「住まいるな話」～『ゆとりッチ』な空間～
- 27 来て!見て! My Town ～天草編～
- 29 業績ハイライト
- 34 FFGのネットワークとプロフィール

一枚の大きなキャンバスに咲き誇る、
色とりどりの鮮やかな花。そして、
そこに記されたメッセージ――。

タイトル

「みんなの心に一輪の花を」

被災地へ「九州からの想い」を発信しよう、
FFGグループと東邦銀行（福島県）で
共同開催した「東北応援プロジェクト」。
その一環として、延べ200名を超える
多くの方々に、「一輪の花」へ思い思いの
ペインティングをしていただきました。
花々は真っ白なキャンバスを埋め尽くし、
裏側にまで溢れています。



東日本大震災の被災地へ贈る、色とりどりの花々とメッセージ (平成26年5月3日・4日 福岡銀行本店広場)

同イベントでは、FFGがこれまで3年間にわたり毎月続けてきた「東日本大震災被災地復興ボランティア」活動の軌跡をまとめたパネル写真展や、ミュージシャン・大森洋平さんによる生ライブも開催しました。

私たちが、こうした活動を通して伝えたい、そして確かめたい思い。

それは、「つながり」。

3月11日のことを忘れることなく、九州の地からもまた、笑顔と、元氣と、勇氣と、たくさんの祈りを届けることで

遠く離れていても、暮らす環境は違っても、同じ空の下、つながっていたい。

銀行の仕事を通じてもまた、お客さまや地域社会の皆さまと想いをともにし、つながりを持って、笑顔咲く未来をつくっていくことができれば。

そんな存在となれることを、今日も願って。



時代の変化を見据え、 これからも 持続的な成長を 目指して

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長
福岡銀行取締役頭取
柴戸 隆成

profile

昭和29年、福岡生まれの60歳。
学生時代は合気道でならし、現在は
落語を聴くのが趣味。何事も諦めず、
目標に向かって進むのが信条。

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

グループ新体制のスタート

本年6月、谷会長より経営のバトンを受け継ぎ、当社社長および福岡銀行頭取に就任いたしました。また、4月にはグループの熊本銀行、親和銀行にも新頭取が就任いたしました。

今後、新体制で一致団結してグループ発展のため努力してまいりますので、よろしく願いたします。

25年度の取組みと成果

当社では、昨年4月より第四次中期経営計画「ABCプランII」(計画期間平成25〜27年度)において、「お客さま起点」の構造改革と営業基盤の飛躍的拡大を目指しております。

初年度となる平成25年度は、営業スタイルの変革に取り組み、個人・法人すべてのお客さまのニーズにワンストップでお応えする態勢を構築しました。その上で、中小企業のお客さまの事業性融資のみならず、事業継承や海外進出などのさまざまなニーズにお応えするためオーナーコンサルティンクを強化しました。また、個人のお客さまには、近年ニーズが高まっている相続関連サービスなどの新商品・サービスの拡充に取り組んでいます。さらに、お客さまとの接点であるチャネルでは、新店舗開設やリニューアルを行うとともに、新型ATMへの更改などで、お客さまの利便性を向上を図りました。

これらの施策により、お客さまのニーズを幅広く取り込むことで、預貸金ともに順調に拡大しました。その結果、26年3月末の預金残高は

12.2兆円、貸出金残高は9.6兆円となり、いずれも地方銀行の中で残高トップとなりました。また利益面では、3行合算のコア業務純益は749億円、連結当期純利益は362億円で期了し、連結当期純利益は2年連続で過去最高益となりました。

ABCプランII2年目の展開

ABCプランIIの2年目となる今年度は、引き続き「お客さま起点」での構造改革を加速させる取組みを進めてまいります。

まず、営業生産性の向上に向けて、新しい顧客情報管理システム(新CRMシステム)を稼働させます。これにより、従来は別々のシステムに分散していたお客さまの情報を集約し一元管理することで、お客さまのニーズに応じたタイムリーなご提案が可能となります。また、金融商品の申込書類を見直し、記入をタッチ方式にすることにより、お客さまの手続きに関する負担軽減を図ります。さらにタブレット端末を導入し、新CRMシステムと組み合わせることで、営業生産性を高め、より効率的な営業活動が可能

となります。

こうした施策により営業スタイルの変革を加速させるとともに、引き続きお客さまのニーズにお応えするための商品サービスの磨き上げやグループ内の連携強化なども着実に進め、営業基盤のさらなる拡大に繋げてまいります。

持続的な成長に向けて

金融機関を取り巻く環境は、少子化・高齢化といった社会構造の変化に加え、金利低下や貸出競争の激化により、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。ふくおかフィナンシャルグループは、これまで時代の変化を先取りして、経営統合により九州全域を結ぶ広域展開型地域金融グループとして経営基盤を築き、厳しい環境を乗り越えながら成長してまいりました。

これからも新しい時代を見据え、変化に適応し、お客さまのさまざまなニーズにお応えする金融サービス業として進化を続けることで、お客さまとともに持続的に成長する企業を目指してまいります。

私どもは、グループ設立時に掲げた志「あなたのいちばんに。」一を胸に、より一層の努力をしまいる所存です。

皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



写真左:熊本銀行取締役頭取 竹下 英、写真右:親和銀行取締役頭取 吉澤 俊介

『終活』を考える

『シュウカツ』——これまでは、社会人としての第一歩を踏み出す場所を自らの目と心で確かめ選んでいく「若者たちの就職活動(就活)」のことでした。

しかし最近、人生の大先輩であるシニア世代でも、響きを同じくする、「シュウカツ(終活)」が話題となっています。

その目的は、「第二の人生も、自分で選ぶこと」——。

『終活』とは、これまで生きてきた人生の中での想いや考えを整理しながら、老後・最期の迎え方を自ら準備することです。ひと昔前までは、そうした準備について□にすることは「死」を連想させることからタブー視され、ご本人が元気なうちは、家族間でもなかなか話題にしにくかったものです。

しかし最近では、「自分のことは自分で決める」という流れに変化しつつあります。

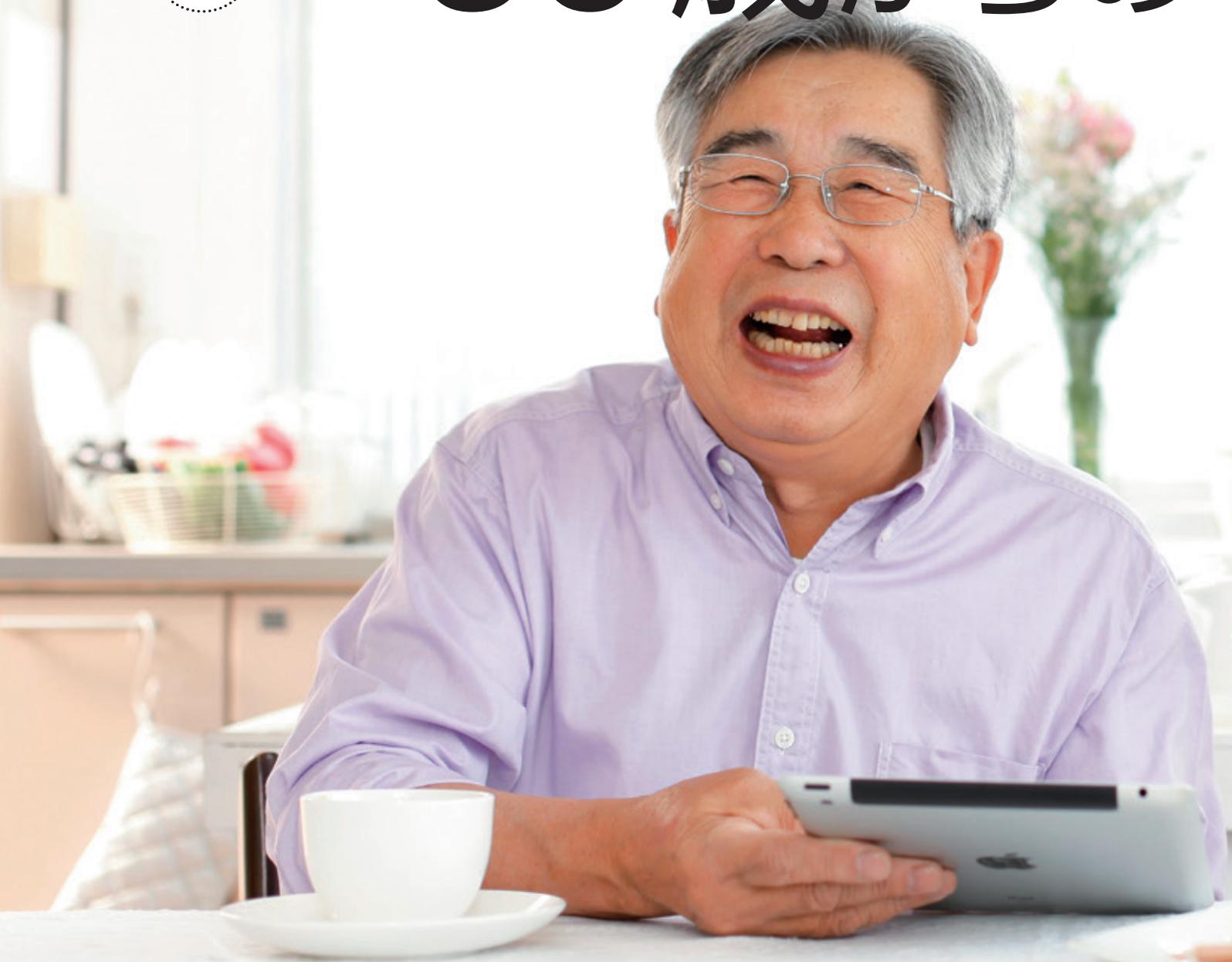
その背景にあるのは、今の日本が置かれている環境です。65歳以上の人口が、2015年には国民全体の約27%を占める超高齢化社会。加えて、少子化・家族構造の変化などもあり、シニア世代の“おひとりさま”世帯は珍しくなくなってきました。そうした「現実」に、シニア世代は「自ら選んでいかなければならない時代になった」という意識の変化が芽生えてきたようです。

一方で、医療技術の進歩などから平均余命は着実に延び、“人生90年”の

～人生第二のシュウカツ～

特集

60歳からの



時代は目前。また、現在のシニア世代の「元気」を象徴するように、アベノミクスでは貴重な戦力として、シニアの活用を謳っています。

今もなお現役で働いたり、子育てを終えて再び自分のための時間が持てるようになってきたシニア世代は、「若々しさ」や「アクティブさ」を保ち、これからの人生を「自ら選び、充実させたい」と考えているのです。

いつかは誰にも訪れる「人生のエンディング」においてもまた、人に委ねることなく、自らの意思や想いをメッセージとして発信していく。家族もその想いを受け止めて、寄り添う——。そうした考え方が、新たな選択肢として受け入れられつつあります。

終わるのではなく、ここからまた始まる。

未来を自ら選ぶ、シニアのためのステップとして、今回は『終活』に向き合ってみましょう。

自分らしく選び、
意義あるシニアライフを

『終活』のススメ



60歳からの平均余命は、人生の4分の1以上。
「高齢者」と呼ばれるには早く、「余生」と言うには長い、
多くの可能性があるセカンドステージが待っています。
そこで、シニアライフをより輝かせるためのヒントを、
司法書士の宮崎寛司さんに伺いました。



前向きに、充実した セカンドステージへ

「最近では、多数のメディアで『終活』や『エンディングノート』といった言葉が取り上げられています。そのメインターゲットとして、『アクティブシニア』という言葉も聞かれるようになってきました。
「アクティブシニア」という言葉は、ごく最近使われるようになってきたものです。アクティブ“という言葉からも分かるように、『終活』を行う上でのキーワードは、「積極性」。「終活」とは、60歳を迎え、人生をもう一度前向きに意義あるものとして受け止めて生活をしていくための活動なのです。現在、この年齢を迎えられているのは、高度経済成長期を支え

お話を伺ったのは…
プラス事務所司法書士法人
代表司法書士・行政書士
宮崎 寛司氏

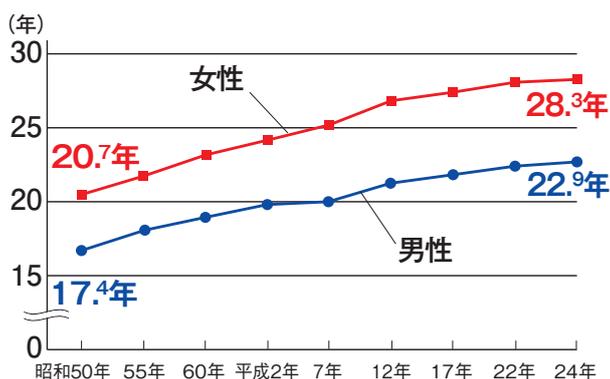
Profile
1962年生まれ。1988年司法書士試験に合格し、司法書士事務所での勤務を経て1993年に独立。
2008年にはプラス相続手続センターを設立し、800件以上の相続相談実績を誇る。



てきたエネルギーギンギンな団塊の世代ですし、超高齢化社会である我が国には、お元気な70・80代の方がたくさんいらっしゃいます。
「第二の人生」という表現があります。が、実際に60歳の方の平均余命の推移を見てみると、現在は男性22.9年、女性28.3年と、昭和50年と比較して、その年数は男性で約5年半、女性は約7年半も伸び、私たちが活動できる時間そのものも増えてきています。60歳になっても、まだ人生の4分の1以上が残っているのですから、「余生」ではないんですね。こういったところからも「アクティブ前向き」に充実したセカンドステージを過ごすことや、そのための『終活』がクローズアップされてきているのだと思います。

60歳の方の平均余命

※平均余命…ある年齢の人がその後何年生きられるかという期待値



出所：昭和50年から平成22年まで厚生労働省「完全生命表」平成24年は同省「簡易生命表」に基づいてFFG作成

60歳からの『終活』を考える

一方で、アクティブシニア世代が抱える不安もありますよね。

「ここ数年「家族に迷惑をかけたくない」という声が増えています。これは、社会環境の影響が大きいと思います。核家族化・少子化により、子どもたち、あるいは親戚・地域の方になるべく迷惑をかけたくない、物理的にもかけられないという方が増えてきているのです。一人っ子のお子さんが両親を支えていくのは大変なことですし、親自身が「子どもには頼れない」と感じるのもやむを得ません。幼稚園の運動会などでも、子どもより父兄の人数の方が多いというのは、見慣れた光景になっていきますよね。そうした家族構造の変化に、年金の受給開始年齢が段階的に引き上げられるという社会状況なども加わり、エネルギーギッシュでありつつも、今後の生活に対する不安を抱えているというのが、現在のアクティブシニアを取り巻く環境です。

—そういった環境が、『終活』ブームにも大きく関わっていますよね。

そうですね。これまでの日本は、会社勤めや子育てが終わったら、自然に地域社会あるいは家族の中になんとなく身を委ねて流れていくという風潮が伝統的にありましたが、近年は「自分の人生は自分で決める」という考え方へと徐々に変化しています。そうしたことを背景

に、終末医療や臓器提供などへの意思表示も尊重されるようになってきました。

色々な選択肢がある中で、納得がいく人生、意義のある人生にしていきたいと考える方が増えていることが、『終活』に関心が集まっている要因だと思います。欧米にはこうした考え方が昔からあり、「自己決定権」と呼ばれています。

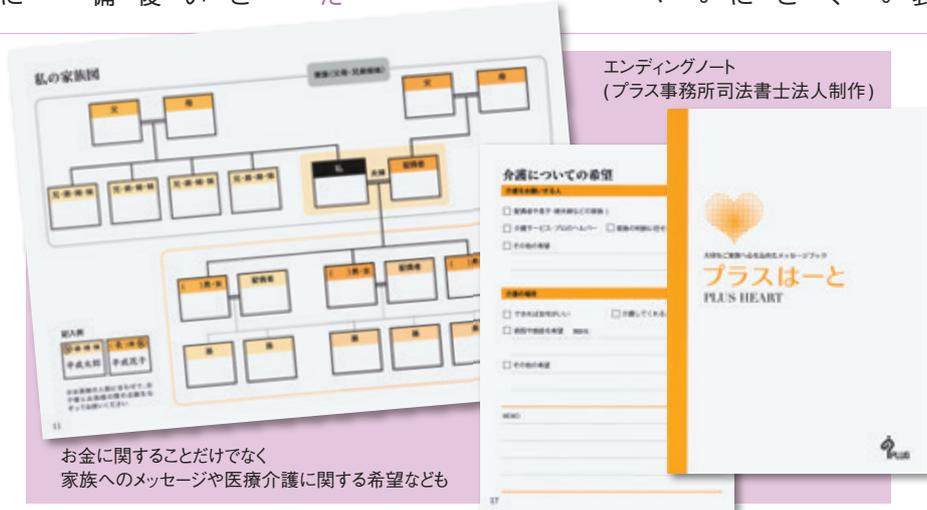
自らを伝え・発する「メッセージ」を

—では具体的に、何から『終活』を始めたらいのでしょうか？

終活は2つの側面から考えていくことが必要です。その一つは、夢や、やりたいことを見つけて活動で、もう一つは、今後のマネープランなどを考え、相談・準備する活動です。

まず、「自身の意思を表明して、書面に残すことから始めてみてはいかがでしょうか？」。「エンディングノート」というのを聞いたことがあるかもしれませんが、これは自分のこれからの人生についての考え方や気持ちを書き遺していくもの。「エンディング」という言葉には、終わっていく人生のためのものという「後ろ向き」な印象を抱きがちですが、そこに記すのは、自らを伝え・発する「メッセージ」です。もちろん、「自身の歴史を振り返る

エンディングノート
(プラス事務所司法書士法人制作)



ことにも繋がるので、自分がやりたかったこと・やり残したことを思い出して整理することが出来ます。そこから優先順位をつけて、するべきことを明確に「スケジュール立て」をしていくんですね。そして六十の手習いではないですが、「もう一度勉強してみよう」「あるいは「会いたい人に会ってみよう」など、自ら行動に移していきます。こういった一連の行為は、脳にもいい影響を与えるようです。

また、ご家族にとっても、エンディングノートをきっかけに、普段本人が何気なく口にしていることが本心なのか、照れや冗談なのかと図りかねることを、しっかりと書面で意思表示してもらうと安心ですし、伝わりやすそうですね。

さらには、まだアクティブシニア世代でない方でも、エンディングノートを手にとってみることが、第二の人生への意識を高めるきっかけになると思います。ぜひ、「どういうことを自分も家族も、今後考えていけばいいのか？」という視点で目を通してみてください。

—最後に、第二の人生をさらに充実したものにするため、シニア世代の方、そして周りで支える私たちに求められることをお聞かせください。

これから迎える人生の4分の1もあるシニアライフを、納得できる、意義ある時間にしていくことが『終活』の目的です。そのためには、まずシニアご本人が「そのうちに…」ではなく、きちんとこれまでの「自分の歴史」に向き合うことが必要です。そしてご家族も他人事としてではなく、ご本人の意思を受け止め、寄り添っていくことが大切になっていきます。

これからは、「未来を自分で選んでいく」という前向きなスタンスで、シニアライフを受け止めていただければと思います。

「私」らしい人生

「エンディングノート」も例外ではありません。

とおしゃる藤澤修三さんのお話からは、新たな『終活』のスタイルが見えてきます。

シニアにとって『終活』とは、人生を前向きかつ計画的に生きるための手段だと私は思っています。そのためには、「好奇心」を感じている身近なことや、「これからやってみよう」という「欲求」に、一歩踏み出すことがスタートです。その作業を楽しくしてくれるのが、タブレット端末などのデジタル機器。「デジタルなんて自分には縁遠い世界…」と思っている人も少なくないようですが、実はデジタルとシニアは好相性なのです。4、5年前まで100%アナログ人間だった私が言うのだから間違いありません。

皆さんは『終活』、特にエンディングノートに関心をお持ちですか？もしそうなら、何のために書くつもりですか？

お話を伺ったのは…

デジ・アド株式会社
代表取締役社長

藤澤 修三氏

Profile

1948年生まれ。大学卒業後、40数年、福岡のマスコミ界に従事。その間、広告会社経営を経て、2012年8月にシニアに特化したデジタルマーケティング会社「デジ・アド株式会社」を設立。自らプロデュースした「私ノート」の魅力を伝えるエバンジェリスト(伝道者)として、セミナーなどで活躍中。



時代・世代を繋ぐ デジタル版「エンディングノート」



藤澤さんが
総合プロデュースする
シニア向け終活アプリ

「私ノート」



プロフィール
作成イメージ

<特徴>

- ・写真や動画を使った「自分まとめ」が可能
- ・何度でも書き直しが簡単
- ・未来永劫残る

カテゴリーは全8種類

これまでの自分(生い立ちや家族への想い、思い出など)、これからの自分(やりたいこと、葬儀やお墓への意向など)をまとめることができます。

「でも、やっぱりデジタルなんて無理…」
そう思っていないませんか？

パソコンとはまるで違い、テレビのリモコンと同じように手軽に、思いのまま、簡単に操作ができるデジタル機器。それが、タブレット端末です。私自身、タブレット端末を通してデジタルの楽しさや面白さにはじめて気付くとともに、デジタル機器だからこそ、シニアライフの可能性を広げられると思つてまいりました。

そもそもデジタルの活用は、若い世代以上にシニアの皆さんにとって大きなメリットがあるのです。なぜなら、デジタル機器を味方に、シニア世代が持つ「ゆとりある時間」や、これまでの人生で培ってきた「豊富な知識と経験」、「バイタリティー」を有効活用できれば、新たに自分を表現・発信する手段が得られるから。また、新しい生き方を見つかることも可能です。その証拠に、デジタル機器を

「こう聞くと、触ってみたくありませんか？好奇心を感じたり、それがアクティブシニアです。」

使った「終活セミナー」に参加するシニアが急増しています。デジタル機器をつましく活用すれば、「自分の最期をこれから考える」という終活に対するシニアなハードルも高いものではなくなるのです。

最初のきっかけは、「孫の写真を撮りたい」「友人との交流を増やしたい」といった身近な目的からです。そこから楽しく操作方法を学んでいくうちに、写真や動画を活用した自分のプロフィールができていきます。そして、いつの間にか、エンディングノートに必要な「自分まとめ」もできてしまつ。こうしたデジタルの魅力を活かせば、終活にも繋がる仕組みが作れるのではないかと考案したのが、『私ノート』です。『終活』を、ノートや紙に向かい、構えて始めるものとしてではなく、自分の欲求を叶えていくためのものと捉えていただきたいのです。

「タブレット端末で何ができるの？」とよく尋ねられるのですが、「何ができるか」ではなく、「何をしたいか」が出发点なのです。何より、自分が「楽しい！」と思えることへの「好奇心」は、シニアご本人を明るくします。また、デジタル機器が「絆」となって新しい交流や思い出も生まれ、自らの人生に残していきたいことがまた一つ増えていくという、まさに「アクティブなシニアライフ」を過ごすことができます。

シニア世代こそ、デジタルで広がる

今やあらゆる分野でデジタル化が進む時代。
「タブレットがシニア世代と相性がいいことを、私自身、実感しました」

アクティブシニアの可能性を
広げるデジタルを、
もっと活用してみませんか？

全人口の約3割を占めるシニア世代が情報弱者にならないことは、社会的にも大切です。また、歳を重ねると身体の自由が利きづらくなってきますが、どこにいても人や社会とつながりを持つことができるのが、デジタルならではの魅力。さらに、タブレット端末のように指先を日常的に使うことは、脳の活性化にも繋がります。まずは、「壊してしまいそう」と怖がらずに触ってみていただきたいですね。

私が、シニア向けのデジタルサービスを通じて目指しているのは、時代やニーズの多様化に対応した、新しい価値観の創出です。また、700万人ともいわれる団塊の世代がシニア世代の仲間入りをし、シニア全体の「デジタル」に対する意識も大きく変わっていくことへ、しっかりと応えていきたいと考えています。銀行にも同じ方向性が求められているのではないのでしょうか。

「知らない・使わない」と、デジタル機器を敬遠してはもったいない。これからの人生を「アクティブに」楽しむツールとして、そしてご自身の終活にも繋がっていく「心強い味方」として、その可能性を、より多くの方に、ぜひ一度体験してみたいと思います。

ケーススタディー

デジタルでこんなに広がる『アクティブシニアライフ』

まずは、『やってみよう』と
思うことを口に出して
行動してみましょう！

新たな『発信』

シニア世代がこれまで培ってきた
豊富な知識・経験を発信する手段となります

たとえば…
得意な農業の知識を
たくさんの人に伝える



新たな『生き方・発想』

今までの既存の概念から、
一歩踏み出すきっかけにもなります

たとえば…
e-ラーニングを
通じて、新しいこ
とを学ぶ



新たな『つながり』

デジタルを通じた出会いや世代間交流ができ、
まわりとの新たな絆も生まれます



たとえば…
藤澤さんが開催するセミナー
では、参加者同士で世代を問
わず旅行やイベントを頻繁に
開催
Facebookなどで、多数かつ
遠方の方とも心が繋がる



←藤澤さんが昔の写真を
「私ノート」に記したことが
きっかけで実現した、
ご友人との再会。
当時と同じポーズを再現。

『時間』と『労力』の 有効活用

加齢に伴う、体力的・
物理的制約をカバーできます

たとえば…
旅行を計画する際、
インターネットを使えば、
一瞬で自分の知りたい
情報以上のものを入手
可能



はじめての一步は 『身近な欲求』から

たとえば…
・孫の写真や動画を自分
で撮りたい
・お友達とメールでやり
とりをしたい
・旅行の計画を立てたい



いきなり「デジタル」について
学んでみようとするのではなく、
身近に感じる「やりたいこと」を
きっかけに、始めてみましょう。

「もしも…」のことも
自ら考え・選ぶ時代に

これまでのページでは、『終活』への向き合い方や、デジタルツールによるシニアライフの充実についてお伝えしてきました。これからの日々を、より自分らしくアクティブにお過ごしいただく一助になれば幸いです。

シニアご本人に、自らの想いを伝え、発信し、前向きに未来を考えていただきたいのは、日々の暮らしに関することだけではありません。相続における税制度の変更が間近となるなど、「遺す」ことへの環境が変化する中、これまでの人生で築いてきた財産やお金に関することも、その一つ。また、加齢とともに高まるリスクへの「備え」も大切です。もしかししたら、この先、訪れるかもしれない不安に対して、自らの意思をきちんと発信し、対策を講じておけば、シニアご本人も、ご家族も、「今」をさらに楽しめることでしょう。この機会にさまざまな角度から、未来を自らデザインしてみませんか？

備える

保険



人生に訪れる、さまざまなライフステージ。その中でシニア世代を迎える方々は、ご退職やお子さまの独立を機に、改めてご自身の人生に向き合われることが多いのではないのでしょうか。

FFGでは、そんなシニア世代ならではの目的に合わせた保険をご用意しています。保険での備えは、現役世代の方だけのものではありません。これからのセカンドステージの充実のために、ご自身や配偶者の方のための保障をしっかり準備しておくことが必要です。これまで保険に加入していなかった、加入していたつもりがいつの間にか満期を迎えてしまっていた、という場合もあります。FFGでは、すべての店舗[※]の窓口で専門のスタッフが対応いたしますので、ぜひ一度、お気軽にご相談ください。

※一部の店舗では取り扱っていない商品もあります。

FFGで

相続に備える 終身保険



〈目的〉

- ・ご本人の意思に沿った財産整理
- ・ご家族間の争いを未然に防ぐ

「相続」から「争族」へ

最近、遺産分割に悩む方が増えています。相続の行方次第では、ご家族同士の争い、すなわち「争族」と呼ばれるトラブルへ繋がる可能性も。

✓チェックポイント

- ご家族への想いを、何かカタチにしたいと思っている
- ご自身の財産について、「誰に」「どれだけ」残すか検討したい、もしくはしている
- 「終身保険」に加入していない

いずれか
あてはまる方は、
保険を見直して
みて？

病気・ケガに備える 医療保険



〈目的〉

- ・加齢とともに高まる入院確率に備える
- ・薬代や通院費用など、長期におよぶ医療費対策

変化する「保険」

最近の医療保険は、一生保障タイプや、先進医療が保障対象となるものもあります。また、過去に病気を患ったり、医師から診断を受けていても、加入できる可能性が高い保険も取り扱っています。

✓チェックポイント

- 「医療保険」に加入していない
- 加入している保険が、一生保障でない
- 加入している保険が、先進医療に対応していない

どちらも保険料の払込みタイプは2種類

FFGでは、保険料の払込みをご契約時に一括で行うタイプと、毎月や毎年など分割で行うタイプをご用意しています。

生命保険に関するご留意点

- ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「契約概要・注意喚起情報」および「ご契約のしおり・約款」等の書面の内容を十分にお読みください。
- 福岡銀行・熊本銀行・親和銀行が取扱う保険商品は、各保険会社を引受保険会社とする生命保険です。預金ではございませんので、預金保険制度の対象ではありません。

お問い合わせ先 商品に関するご相談・お問い合わせは、FFG各銀行の窓口、ホームページまたは下記ダイヤルまで
ダイレクトコンサルティングプラザ（資産運用等について）

0120-788-324 0120-333-086 0120-34-3456

◆受付時間：9:00～20:00
（ただし、銀行休業日は除きます）

携帯・PHSからも
ご利用OK

知って
おきたい

シニア世代に
関わるお金の話

① 税制改正は相続税にも

今年4月から税率が引上げられた消費税だけでなく、平成27年1月からは相続税についても税制度が変わります。

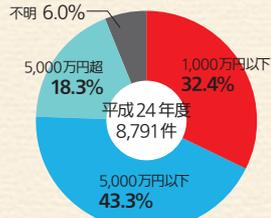
- 相続税基礎控除額の引下げ (平成27年1月～)
- 改正前
5,000万円+1,000万円×法定相続人数
- 改正後
3,000万円+600万円×法定相続人数
- そのほか、相続税率の見直し (最高税率を55%に引き上げる等)も行われます

出所：財務省「平成25年度税制改正」

② 誰にでも起こる「争族」の問題

遺産分割事件のうち、75%超が遺産総額5,000万円以下の事件、また裁判所への相続相談件数がこの10年で急増するなど、相続を巡るトラブルは誰にでも起こりうるものとなりつつあります。

● 遺産分割事件の遺産総額別内訳



● 家庭裁判所への相続相談件数の推移



出所：最高裁判所「司法統計年報」に基づいてFFG作成

未来をデザイン

遺す相続



ご紹介してきた「エンディングノート」以外にも、自らの意思をメッセージとして遺すことのできる「遺言信託」という方法があります。

また、実際に相続が発生した時にはさまざまな手続きが必要となりますが、「具体的にイメージができない…」という方も多いのではないのでしょうか。

FFGでは、お客さまご自身が将来に備えて準備する遺言信託と、実際に相続が発生した時にご家族が行わなければならない相続手続きに関して、以下の4つのサービスをご用意しております。

お客さまご自身が将来に備えて準備する

遺言信託

ご本人が行う手続き

＜目的＞

遺言書を作成することで、大切な財産を大切な人へ、本人の意思により相続できる

遺言書の作成に関するご相談から遺言書の保管、相続発生後の遺言執行までの一連のお手続きをサポートします。

こんなニーズをお持ちの方におすすめ

相続内容を自分で決めたい

相続人との争いは防ぎたい

大切な人にかかる
かもしれない
手続きの負担を軽減したい



ご家族が行わなければならない、相続手続きをサポート

遺産整理業務

相続発生後に、ご家族が行う手続き

＜目的＞

複雑な相続手続きのサポートが受けられる
遺産の調査から財産目録の作成、遺産分割協議書の作成、遺産分割手続きまでの一連のお手続きをサポートします。

こんな悩みをお持ちの方におすすめ

遺産の内容が複雑

遺産の分割方針が決まっていない

相続人が多い
相続人が遠方に住んでいる



相続手続基本パック (手続代行)

ご相続人に発生する、相続にかかる一連の事務手続きを代行します。

相続人確定サービス (戸籍収集)

相続にかかる事務手続きのうち、戸籍を収集し、相続人を確定します。

相続に関するご留意点

● 遺言信託・遺産整理業務は、朝日信託、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行またはみずほ信託銀行のサービスであり、福岡銀行・熊本銀行・親和銀行は朝日信託、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行またはみずほ信託銀行の業務提携店または信託代理店としての取扱い(媒介)を行います。ご契約に際しては、お客さまと朝日信託、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行またはみずほ信託銀行がご契約の当事者となります。本サービスのご利用には、朝日信託、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行またはみずほ信託銀行の所定の手数料がかかります。● 相続手続基本パック・相続人確定サービスは、プラス相続手続センターのサービスであり、福岡銀行・熊本銀行・親和銀行はプラス相続手続センターの業務提携店としての取扱い(媒介)を行います。ご契約に際しては、お客さまとプラス相続手続センターがご契約の当事者となります。本サービスのご利用には、プラス相続手続センターの所定の手数料がかかります。

幅広くお応えできるように、便利な商品・サービスをご提供しています。

の商品 & サービスラインナップ

平成26年6月2日現在



備えて安心
マイホーム



しっかり
考えたい教育



シニア
ライフ

財形住宅預金



積立式定期預金「ためる〜んKIDS」
教育贈与専用預金



大口定期預金
年金定期預金「夢いっぱい」
退職金専用定期預金
相続定期預金 **福岡 親和**



一時払個人年金保険
一時払終身保険
一時払終身医療保険



ローンセンター・ローンプラザ
長期火災保険
債務返済支援保険(住宅ローン)

ライフプランシミュレーション
住宅セミナー
建築士サービス
住宅ローン休日相談会
ライフプラン休日相談会

住宅ローン
リフォームローン
住まいるローン
カードローンTHE FIRST

自動送金サービス
外国送金



貸金庫
マネーセミナー
会員制サービス「グランドマイバンク」
年金受取
年金受取予約サービス「夢プラン」
年金セミナー・年金相談会
相続関連サービス
相続対策セミナー



学資ローンDX

住宅購入資金

住宅の平均購入価格は
世帯年収の約5.2倍

※1
全国平均 約3,004万円

「平成25年度上半期フラット35利用者調査報告」
住宅金融支援機構

※1 注文住宅融資利用者のうち、土地取得のための
借入れのない方が購入した平均価格

お子様の教育資金

幼稚園から大学卒業まで※2

全国平均 約1,154.4万円
+

自宅外通学者の場合

仕送り年間 約92.1万円(月額7.6万円)

※2 幼稚園・小中学校は公立の場合
「子供の学習費調査」文部科学省/平成24年度
・高校・大学は国立・私立を合わせた全体の平均
「教育費負担の実態調査結果(国の教育ローン利用
勤務者世帯)」日本政策金融公庫/平成25年度

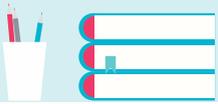
退職金

60歳で定年退職した場合

※3
平均 約2,492万円

「2012年9月度 退職金・年金に関する実態調査結果」
(社)日本経済団体連合会

※3 管理・事務・技術労働者・総合職・大卒を標準
とした場合



FFGは、個人のお客さまのライフステージに合わせ、さまざまなニーズに

ライフステージとFFG

福岡 福岡銀行での取扱い 熊本 熊本銀行での取扱い 親和 親和銀行での取扱い ※特に記載がないものは3行共通の商品・サービスです。



銀行デビュー、就職、そして社会人生活



将来に向けた資産形成そして結婚・出産

ご預金

総合口座
インターネット専用口座「ネットワン」
積立式定期預金「ためる〜ん」
一般財形預金

スーパー定期預金(スーパー定期300)
バースデー定期
財形年金預金

資産運用

NISA(少額投資非課税制度)口座
積立投資信託
積立式外貨普通預金「ためる〜んWorld」



学資保険
平準払個人年金保険
平準払終身保険
医療保険・がん保険
定期保険
収入保障保険
平準払外貨建養老保険
外国債券等
(金融商品仲介業務)
証券会社紹介サービス

投資信託
公共債
スーパー外貨定期預金
ミックスパック
はじめてミックスパック
個人型確定拠出年金
ネット保険の窓口販売

その他サービス

アレコレカード
アレコレSUGOCA
アレコレnimoca
ETCカード
ダイレクトバンキングサービス(テレホン・インターネット・モバイル)
インターネットバンキング(簡易版)
外貨両替
外貨両替予約販売サービス(スマートフォン・インターネット)
海外旅行保険(インターネット)
自動車保険(インターネット)

給与振込
ポイントくらぶ「マイバンク」
メルマガくらぶ

投資信託運用報告会
公共料金自動振替



ご融資

ニューオートローンDX、残価設定型オートローン
目的別ローン
(フライダル、メモリアル、メディカル、
ロードバイク、カメラ、楽器)
フリーローン「ナイスカバー」

FFGはいつも、あなたのそばに

お問い合わせ先

商品・サービスに関するお問い合わせは、FFG各銀行の窓口、ホームページ、または下記ダイヤルまで。

テレホンサービスセンター
(定期預金・ためる〜ん・その他照会について)

福岡銀行 0120-788-321
熊本銀行 0120-189-066
親和銀行 0120-122-312

ダイレクトコンサルティングプラザ
(ローン・アレコレカード・資産運用等について)

福岡銀行 0120-788-324
熊本銀行 0120-333-086
親和銀行 0120-34-3456

※受付時間：9:00~20:00(但し、銀行休業日は除きます)

携帯・PHSからも
ご利用OK

結婚式の費用

挙式・披露宴・
披露パーティー

(九州平均) 約364.3万円

『結婚トレンド調査2013』
『ゼクシィ』(リクルート発行)調べ

目取高

「最高の」

＝
グランドマイバンクとは、

FFGが、ご提供する、お取引内容に応じた特典サービス「マイバンク」の中でも、満55歳以上のお客さまにご利用いただける、お申込制会員サービスです。
シテライフを、よりゆとりある、充実した日々に
していただくための「喜び・感動・楽しみ」をお届けします。



得する

*「ご優待サービス」(※2)

国内・海外旅行が会員価格でご利用いただけるほか、レンタカーが最大60%引き、ショッピングが最大50%引き、レストランが最大20%引き、などに加え、スポーツクラブや、日帰り温泉、レジャー施設など、さまざまなサービスを
ご用意しています。



楽しむ

*「抽選プレゼント企画」

歌舞伎、寄席、野球観戦など季節に応じたイベントや、女子プロゴルフツアーを招待し、一緒にラウンドを楽しむ「会員さま懇親ゴルフ大会」、カタログギフトなどをプレゼントするキャンペーンを
実施しています。

*「旅行・宿泊サービス」(※3)

会員さま限定の宿泊プランや、全国各地でご利用いただける
多彩なサービスメニューをご用意しています。

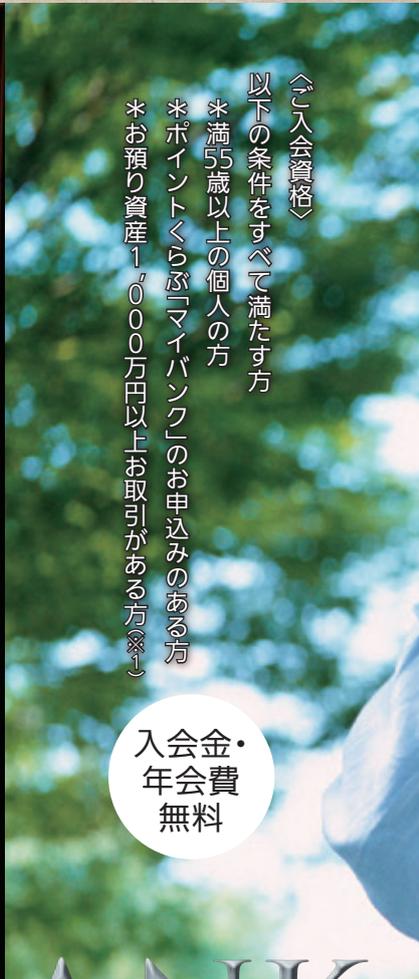
「グランドマイバンク」入会方法、会員証や銀行サービスに関するお問い合わせ

☎ ふくぎんテレホンサービスセンター ☎ 0120-788-321 ☎ 熊本銀行テレホンサービスセンター ☎ 0120-189-066
☎ 親和銀行テレホンサービスセンター ☎ 0120-122-312 ◆受付時間：9:00～20:00(ただし、銀行休業日は除きます)

「旅行・健康・趣味」などのサービスに関するお問い合わせ

グランドマイバンクコンシェルジュデスク(JTBビジネスサポート九州) ☎ 0120-192-939
◆受付時間：平日10:00～18:00、土曜日10:00～13:00(日祝日および年末年始12月30日～1月3日はお休みとさせていただきます)

携帯・PHSからも
ご利用OK



〈ご入会資格〉

以下の条件をすべて満たす方

＊満55歳以上の個人の方

＊ポイントくらぶ「マイバンク」のお申込みのある方

＊お預り資産1,000万円以上お取引がある方(※1)

入会金・
年会費
無料

GRAND MY BANK

学ぶ

＊会報誌「謳歌」の定期発刊

旅や趣味に関するさまざまな情報をお届けします。
また、著名な方のインタビューも連載しています。



＊「セミナー・イベント」開催(※4)

趣味や教養の向上、余暇の充実を目指した
各種セミナーを開催しています。

〈これまでに開催したセミナー〉

「スマートフォンセミナー」「歌う・話す・声のレッスン」

「和食の作法実践講座」「クルーズ旅行の魅力セミナー」等



※1: お預り資産＝定期預金＋外貨定期預金＋公共債＋投資信託＋個人年金保険＋一時払終身保険
 (普通預金、貯蓄預金、当座預金などの流動性預金はお預り資産残高に含みませんのでご注意ください)
 (注)「投資信託」「外貨定期預金」「公共債」「個人年金保険」「一時払終身保険」については各金融商品に関するご留意点をお読みください。

※2: 株式会社JTBベネフィットが提供するサービスです。

※3: 株式会社JTB九州と株式会社JTBベネフィットが提供するサービスです。JTB九州の店舗等での申込みを対象とさせていただきます。
 詳しくはグランドマイバンクコンシェルジュデスクにお問い合わせください。

※4: 株式会社JTBビジネスサポート九州と株式会社JTBベネフィットが提供するサービスです。

使えた

福岡銀行 1,251台

熊本銀行 238台

親和銀行 519台

(平成26年5月末現在)

使えるATMは、こんなにいっぱい!



便利に!

お客様の利便性向上を目指し、FFGでは2013年から「新型ATM」の導入を進めてきました。そして今年4月より、グループ3行の全ATM更改完了にあわせて、新たに2つのサービスをスタート!

ATMで

預け入れ

引き出し

振込み

残高照会・通帳記帳

などがご利用できます!

そんなとき
FFGなら



今日、銀行に行きたかったのに
もうこんな時間!



た

平成26年6月2日現在

〈営業時間の拡大に関するご注意点〉

- ※利用時間帯が最も長いATMコーナーの例であり、ご利用時間帯およびサービスの内容はATMコーナーごとに異なります。
- ※お預け入れは、21時までのお取り扱いとなります。 ※平日15時以降および土日祝日のお振込は、翌営業日扱いとなります。
- ※ポイントくらぶ「マイバンク」三ツ星以上のお客さまは、グループ3行のATMで「お引き出し」される際の時間外手数料が無料となります。
- ※詳しくは各窓口またはホームページでご確認ください。

ATM サービスに関するお問い合わせ

- ふくぎんテレホンサービスセンター ☎ 0120-788-321
- 熊本銀行テレホンサービスセンター ☎ 0120-189-066
- 親和銀行テレホンサービスセンター ☎ 0120-122-312

◆受付時間：9:00～20:00
(ただし、銀行休業日は除きます)

携帯・PHSからも
ご利用OK

転勤や進学で、
他県に…



旅行先や
出張先で
急にお金が！

そんなとき
FFGなら

ATM全面共通化

これまでの、キャッシュカードによる
お取引に加えて、

FFGグループ3行の通帳が
それぞれのATMで
相互にご利用できます！

ATMがさらに

営業時間の拡大

主要駅やその最寄り支店などに設置する、
一部ATMコーナーの営業時間を

8時～21時から
最大7時～23時
へ拡大！

平日

開いて



そして
いよいよ！

「ユーモ」デザインの総合口座通帳・キャッシュカードが仲間入り！

グループ3行で
6月中旬から
順次導入予定

お取引内容を印字する
通帳中面にも、さまざまな
表情のユーモが登場します

〈ATM全面共通化に関するご注意点〉

※相互利用が可能なお取引は以下の通りです。

個人のお客さまの通帳：お引き出し、お預け入れ、お振込、残高照会、通帳記帳 法人のお客さまの通帳：お預け入れ、残高照会、通帳記帳

※硬貨を伴うお取引、定期預金に関するお取引、カードローンの一部お取引、および振込カード・振込通帳などは相互利用(ATM共通化)の対象外となります。

※親和銀行の法人のお客さまは、お引き出し・お振込のお取引もご利用いただけます。 ※福岡銀行、熊本銀行、親和銀行以外の金融機関が管理する共同ATMおよびコンビニATMは対象外となります。 ※詳しくは各窓口またはホームページでご確認ください。

〈通帳繰越について〉

※通帳繰越は、ATMではご利用いただけません。口座開設銀行の通帳繰越機をご利用いただくか、口座開設銀行の窓口へお申し出ください。

FFG TOPICS

FFGおよびグループ3行の新体制始動

平成26年4月から新たに、熊本銀行頭取に竹下英、親和銀行頭取に吉澤俊介が就任しました。両名ともに地元出身者であり、就任にあたり「熊本を代表する銀行を目指して全力で邁進し、営業基盤を拡大したい」「竹下」、「これまで構築した成長戦略を引き継ぎ、さらに発展させたい」「吉澤」と、抱負を語りました。熊本銀行前頭取の林は熊本銀行顧問へ、親和銀行前頭取の小幡はFFGおよび親和銀行の顧問に就任しています。



竹下 英



吉澤 俊介



社長交代発表記者会見の様子(左:柴戸 隆成、右:谷 正明)

また、6月27日の株主総会後には、柴戸隆成がFFG社長・福岡銀行頭取に就任し、前FFG社長兼福岡銀行頭取の谷正明は、FFGおよび福岡銀行の会長へ就任し、新体制が船出しました。

地域再生・活性化 ネットワークの構築

地元企業の事業再生や県外進出などを支援するため、各行の経営基盤・営業エリアにおいて有する情報・ネットワークを相互に活用・連携する「地域再生・活性化ネットワーク」を、グループ内の福岡銀行をはじめ全国9つの地方銀行間で構築しました。県境・地域を越えた支援の枠組みで、お客さまのさまざまなニーズにお応えします。



ブランド関連

FFG企業ブランドCMの第2弾「働く人賛歌」篇が、平成26年5月より放映を開始しました。第2弾は、「人(お客さま)」の働く姿と共存する「街(普通の日常)」にフォーカスした内容となっています。



インターネットバンキングを安全にご利用いただくための10箇条

1. 改ざんされたログイン画面にご注意ください
2. ソフトウェアキーボードを利用しましょう
3. ご登録いただいているメールアドレスをご確認ください
4. ログインをしたら、ログイン履歴と取引結果照会を行いましょ
5. 暗証番号などをパソコン内に保存するのはやめましょ
6. セキュリティに関連するアップデートは必ず実施しましょ
7. セキュリティ対策ソフトは最新版でご利用ください
8. ワンタイムパスワードのご利用を強くおすすめしま
9. 振込限度額は必要最低限に設定しましょ
10. 怪しいサイトの閲覧、無料ソフトのダウンロード、不審なメールにご注意ください

※詳しくは各行ホームページをご覧ください

平成26年4月以降、全国的にインターネットバンキングを利用した不正取引被害が発生し、弊社では一部機能を制限させていただきます。ご契約者の皆さまには、ご不便をおかけしています。今後ともセキュリティをはじめ、

お客さまの大切な資産を守るための対策に取組んでまいりますので、お客さまにおかれましてはご利用の際、左記の10箇条に十分ご注意ください。また、ご協力をお願いいたします。

インターネットバンキングのご利用について

ダイレクトバンキング会員数100万人
ご契約ありがとうキャンペーン

グループ3行のダイレクトバンキングご契約者総数が100万人に達したことを記念し、お客さまへの感謝の気持ちを込めて平成26年1月より「ありがとうキャンペーン」を開催。
ログインキャンペーンや定期預金の金利上乘せ、1万枚限定の記念カード発行などを実施



ユーモデザイン「記念カード」

実施し、大変ご好評をいただきました。

店舗新設・リニューアル

平成26年1月以降、当社グループでは、2店舗・1ローンプラザの新設と、3店舗のリニューアルを行いました。福岡銀行土井支店では、個人のお客さま向けのご相談に特化した「コンサルティングプラザ」を新たに導入しています。

今後も、地域の皆さまに「あなたのいちばんに。」を感じていただけるよう、店舗新設・リニューアルを進め、快適で心地よい空間をご提供してまいります。

土井支店



3/24新設

植木支店



4/21新築リニューアル

春日支店



1/27新設

大江白川支店



4/14新築リニューアル
(同時に新屋敷支店から改称)

竹松ローンプラザ



1/6新設

大牟田支店



3/24新築リニューアル

〈今後の新築リニューアル予定〉

前原支店 平成26年7月

薬院支店 平成26年8月

福岡市庁内支店

4/21 福岡市庁内出張所を支店へ変更

FFGのコーポレートコミュニケーション(IR)年間カレンダー

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	
		●第3四半期決算		●中間決算					●第1四半期決算	●本決算		決算発表
									●			株主総会
				●					●			会社説明会
	●			●			●		●			有価証券(四半期)報告書
			●あなたのいちばんに。編 ●財務データ・資料編						●あなたのいちばんに。編 ●財務データ・資料編			ディスクロージャー誌 本誌
							●					Annual Report

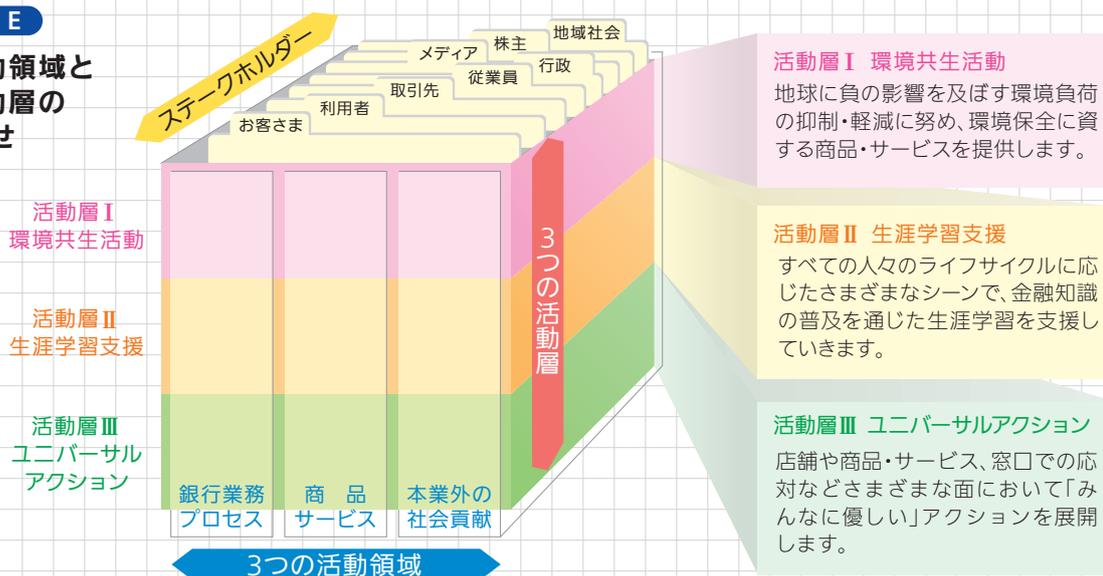
FFGグループでは、
経営理念の実践とも言うべき事業活動そのものが、
「CSR」と考えています。

CSRレポート 2013-2014

Corporate Social Responsibility Report 2013-2014

CSR CUBE

3つの活動領域と
3つの活動層の
組み合わせ



銀行業務プロセスによるCSR

コーポレートガバナンス、法令遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる態勢構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動などといった、銀行業務の全プロセスにかかる取り組み。

銀行の商品・サービスによるCSR

銀行の持つ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取組みおよび金融ビジネス。

本業外の社会貢献によるCSR

本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取組み（ボランティア、文化芸術活動など含む）。

「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選出されています。

FFGは、平成21年9月以降、ロンドン証券取引所の100%完全子会社であるFTSE社の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選ばれています。



「FTSE4Good Index Series」とは

2001(平成13)年にFTSE社が開発・提供を開始した株式指標で、半期に一度見直しが行われる。企業責任活動において国際基準を満たす企業を構成銘柄とするSRI(社会的責任投資)の代表的指標で、世界2大SRIインデックスの一つとされ、CSRに関心をもち投資家の投資選択基準となっている。

『東日本大震災 被災地復興ボランティア』活動

◆「すぐにも被災地へ」
想い続けた3年間

東日本大震災発生から3カ月後の平成23年6月、「すぐにも被災地へ」という多くのグループ役職員の声を受けて、被災地へのボランティア隊派遣がスタートしました。

当初は1年間の活動を想定していましたが、第一回の宮城県岩沼市をはじめ、山元町、七ヶ浜町、南三陸町の各地で毎月活動を行って行く中で、「まだまだやれることがある」「助けを必要としている人がいる」と、ボランティア活動を続けたいという多くの声が集まり、平成26年5月までの3年間にわたって活動を継続し、全36回・延べ867名が参加しました。

「被災地復興ボランティア」延べ参加人数

	男性	女性	計
福岡銀行	452	95	547
熊本銀行	116	17	133
親和銀行	163	24	187
計	731	136	867

ボランティア参加者は、被災地の現状を直接自分の目で見てきましたが、まさに「百聞は一見にしかず」。TV・新聞を通しては伝わってこないことを、各々が実際に感じとってきました。

・壮絶な災害状況に対する驚き

被害の大きさを物語る建物などを目の当たりにした時は、誰もが言葉を失い、ただ立ち尽くすしかありませんでした。しかし、長い道のりの先に必ず復興があることを信じ、参加者全員が自分に今できることに力を尽くし続けた3年間でした。

・自分を顧みる

普通に「日常生活」を送れることへの感謝とともに、「今、やるべきことをできているか?」と、自分の生き方そのものについても、見つめ直す機会となりました。

◆忘れない
被災地への想い

ボランティア活動を通して、社内にも変化がありました。職場・役職が違う者同士が「被災地の復興」という同じ想い(目的)を胸に、一致団結したことで、福岡銀行・熊本銀行・親和銀行3行間の絆が深まったことです。また、ある回のボランティア隊は、被災地での活動後にも集結し、休日にも地域の清掃活動を行うなど、ボランティア活動そのものに対する姿勢も、これまでとは変化しつつあります。

現地へのボランティア隊の派遣は本年5月で終了しました。しかし、私たちが被災地に対してできることは、これだけではありません。

ある被災地の方の言葉です。

「ボランティアに来てもらえることは、すごくありがたいです。ただ、私たちが一番望んでいるのは、震災があったことをずっと覚えていてもらうことです。」

ボランティア活動の様子

いま、私たちにできること——



目の当たりにした、被災地の現実



それでも『被災地の役に立ちたい』その一心で、現地の方とともに活動し続けた3年間



荒廃した土地を整えていく瓦礫撤去は手作業で、一日で行える範囲は、ほんのわずか——



土の中からは、日々の生活で使われていたものもたくさん見つかり、胸をしめつけられた



復興への願いは、被災地とともに



風化させない、被災地への想い——

FFGのホームグラウンドである九州の豊かな自然は、私たちの宝。その想いを大切に、環境負荷の抑制・軽減に努め、環境に配慮した商品・サービスを提供します。

FFGの環境方針 4つの柱

- ① **EMSの継続的実施**
地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
- ② **本業を通じた環境面への取り組み**
本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。
- ③ **環境配慮活動の実施**
省エネ・省資源活動への取り組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。
- ④ **全従業員への周知と徹底**
本方針を当グループ全従業員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

FFGの環境への取り組み

チャレンジ25への参加
日本の森を守る地方銀行有志の会への参加
二酸化炭素排出削減事業への参加

環境に配慮した商品・サービス

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」
環境省利子補給制度の取扱い
再生可能エネルギー関連商品
エコアクションポイント事業
排出権取引

環境負荷の抑制・軽減に向けた活動

FFG独自の節電プログラム
エコオフィス化の推進
(屋上緑化、太陽光発電、LED照明など)
営業拠点一帯の清掃活動
営業車両へのエコカー導入
ライトダウンイベントの実施
クールビズ・ウォームビズ
エコってカエル
(エコアクションとメリハリのある勤務体制の実現)
エコ・キャップ運動、使用済み切手収集
(キャップ・切手の回収、リサイクル)
ゴミの分別徹底

継続的なエネルギー削減への取り組み

平成23年夏から、FFG独自の節電プログラムを展開しています。身近な取組みとして、室内空調の適切な温度設定や自動販売機の夜間消灯、離席時のパソコン電源オフの励行、各部店単位でのエネルギー消費量の管理などを実践し、電力使用量の削減に努めています。

平成25年下期(10月～3月)は、平成22年同期対比で8.4%の削減に繋がりました。

また、太陽光発電や営業店のATMコーナーなどへのLED照明の採用など、エコオフィス化も推進しています。

環境格付融資

FFG「エコ・ローン」および「環境省利子補給制度」

環境に配慮した経営を行う企業の取組みをFFG独自の「環境格付」で評価し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品です。オリジナルティと地元密着を目指し、企業の環境保全の努力を評価項目に取り入れています。

また、地球温暖化対策に配慮した設備投資を行う企業の借入利子を一定の条件で国(環境省)が助成する「環境省利子補給制度」の取扱いも進めています。この制度はFFG「エコ・ローン」による借入利息に対して助成が適用されるものです。

住みよい街づくり

地域の一員として、住みよい街づくりに貢献するため、各営業拠点で清掃活動・自然保全活動・環境美化活動を行っています。

リサイクル活動

FFG本社ビルにおいて「エコ・キャップ運動」を展開し、ペットボトルのキャップを回収して再資源化を推進するとともに、ゴミの焼却処分にかかるCO₂発生抑制にも貢献しています。

また、各営業店でもお客さまと一緒にペットボトルのキャップや使用済み切手などの収集に取り組んでいます。

エコオフィス化「太陽光発電」



店舗周辺の清掃活動



ペットボトルキャップの回収活動



生涯学習支援 Lifelong Learning Support

FFGはすべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援しています。

FFGの生涯学習支援

金融を通じた生涯学習支援

学生向け「金融・経済学習」
お客さま向け各種セミナー
地域の皆さま向け
「振り込み詐欺から身を守るセミナー」

次世代を担う子どもたちへ

児童養護施設への活動
「銀行の職場探検」プログラムの展開
「ジョブシャドウ」実施
「FFGインターンシップ」実施
「家族参観日」実施(従業員対象)

文化芸術・スポーツ活動

文化・芸術・スポーツイベントへのご招待
ニューイヤーコンサート
ビルの谷間のコンサート
地域貢献イベントの開催



大学生向け
「金融教育セミナー」

長崎新聞社提供



福岡銀行
「図書寄贈」



福岡・熊本・長崎各地で開催
「ニューイヤーコンサート」



小学4～6年生
総勢77名が参加
「ふくぎん少女テニス大会」

金融教育支援

金融知識の普及をサポート

金融知識の普及をサポートするため、お客さまを対象にさまざまな金融教育支援活動を展開しています。資産運用・年金・住宅などの各種セミナーはもちろん、学生向けに「金融・経済学習」も開催しています。

親和銀行では、金融商品の特性を把握して適切に活用する能力を養っていただくため、大学生を対象とした「金融教育セミナー」を、行員が講師を務め、開催しました。

次世代を担う子どもたちへ

児童養護施設への図書寄贈

子どもたちに豊かな感受性や人間形成に役立つ学びの機会を提供するため、児童養護施設への図書寄贈を行っています。平成25年度は、グループ3行で10校・計669冊を寄贈しました。

「銀行の職場探検」プログラム

グループ3行の営業拠点がある地域の小・中学生を対象に、「銀行の職場探検」プログラムを展開し、「金融・銀行」の社会的な役割などを楽しく学ぶ機会を提供しています。

「ジョブシャドウ」

平成20年から、高校生を対象に職場体験プログラム「ジョブシャドウ」を展開しています。社員1名に生徒1名が常時同行（シャドウイング）し、「働くこと」の意義や将来設計に関しての考えを深めるきっかけを提供するものです。

※「ジョブシャドウ」は公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（以下「JA」）の登録商標であり、JAが提供する体験型実習プログラムです。

文化芸術・スポーツ活動

「ニューイヤーコンサート」

グループ3行において、ニューイヤーコンサートを開催しました。今年は華麗なるウィンナ・ワルツの饗宴」と題し、3行で1,050組・2,100名のお客さまにオーケストラの音色をお楽しみいただきました。

「少年少女テニス大会」

福岡銀行では、県内テニスクラブおよび福岡銀行ホームページにて応募のあった福岡県および近郊に在住の小学生が参加する「ふくぎん少年少女テニス大会」を開催し、7回目となる本大会では総勢77名が一緒に汗を流しました。

FFGは、高齢者、女性、子ども、障がい者の方はもちろんのこと、地域社会、地球環境を含めた「みんなに優しい」の実現を目指したアクションを展開しています。

「みんなに優しい」「銀行を目指して」障がいをお持ちの方や、高齢の方などに特定せず、誰もがもっと利用しやすい「みんなに優しい」銀行を目指して、応対力の向上やサービス体制の充実など、さまざまな取組みを実践しています。

具体的には、ハード面の充実として、「車椅子」「助聴器」「コミュニケーションボード」など各種ユニバーサルツールの全店設置、店舗のバリアフリー化などを展開しています。

また、ソフト面では、全営業店にサービス介助士2級資格を保有する「お客様責任者」を配置し、営業店研修会を開催して適切なお客さま対応

銀行にご来店のお客さまへ

FFGのユニバーサルアクション

銀行にご来店のお客さまへ

「みんなに優しい」店舗づくり
 店舗のバリアフリー化
 お客様責任者・サービス介助士の全店舗配置
 普通救命講習受講者・認知症サポーターの配置
 下記ユニバーサルツールの全店舗配置
 (老眼鏡・AED・車椅子・視覚障がい者対応ATM
 コミュニケーションボード(聴覚障がいのある方・外国人)
 耳マーク案内板(筆談でのご案内)・助聴器・貸傘)

地域貢献活動

災害復旧支援活動
 地域行事への参加
 みんなの110番
 「小さな親切」運動(熊本銀行)
 親和銀行ふるさと振興基金

社内の取組み

ユニバーサルアクション・プログラム
 (ひとり1アクション運動、ひとり1スキル運動)
 障がいをお持ちのお客さまなどへの利便性向上(体験型研修、代筆、代読トレーニング)
 TABLE FOR TWO

地域貢献活動

「小さな親切」運動

熊本銀行では、青少年の豊かな心づくりを目指して、車椅子寄贈運動や地域清掃、「小さな親切」作文コンクールなど、思いやりの心の輪を広げるさまざまな活動を行っています。

やおもてなしの心の醸成に努めています。

社内の取組み

「ユニバーサルアクション・プログラム

「みんなに優しい」の実践として、従業員たちが独自に実施する「ひとり1アクション」運動と、サービス品質向上に繋げる「ひとり1スキル」取得をグループ3行で展開しています。

体験型研修

視覚障がいをお持ちの方の体験型研修



ご高齢のお客さまの視覚体験



ユニバーサルツール



多目的トイレの設置



筆談でのご対応



座ったままご利用いただける記帳台



コミュニケーションボードの設置



「TABLE FOR TWO」への取組み

平成21年6月から、従業員の健康維持と社会貢献へ同時に取組む「TABLE FOR TWO」に参加しています。社員食堂でヘルシーメニューを注文すると、1食につき20円が発展途上国の学校給食費として寄付されます。3月末までの寄付金は、1,236,824円(全4拠点)となりました。



FFGの建築士から、あなたの住まいに「スマイル」な提案をお届けします。

住まいるな話 VOL.6

ワンランク上の安らぎ『ゆとりッチ』な空間

最近の住宅トレンドは、「上質」や「贅沢」。
プチプライスで「使い捨てる」流れから、ラグジュアリーな気分になれるものを「使い続ける」流れへと、人気が移ってきています。
そんな「ゆとりのあるリッチな空間」を、気軽に始められるポイントをご紹介します！

ホテルでぜひ見ておきたい！ 心安らぎポイント

- ☑ 部屋全体の色合い
- ☑ 絵の飾り方、小物の置き方
- ☑ 照明の位置・種類
- ☑ 家具のデザイン
- ☑ 壁紙やカーベットの素材・柄
- ☑ 季節を感じるディスプレイ
- ☑ カーテンの生地感 など



「ホテルと実際の住まいでは仕様が全く違うし、参考になるの？」と思われるかもしれませんが、ホテルが提供するおもてなしの空間は、「落ち着き、かつ贅沢な気持ちになれるヒント」がたくさん詰まっています。

また、ひとくちにホテルといっても、ハイクラスなシティホテルから和室中心の旅館、ナチュラル系のリゾートホテルまで、その種類はさまざま。自分にとって「これがいちばん心安らいで良い気持ちになれるか」をイメージして、お手本にしたいタイプを選んでみましょう。



「ホテル」を参考に見てみよう！

今日からはじめる『ゆとりッチ』な暮らし

—上質な品を
厳選する—
空間に
余白を持たせる—

こだわりの品



安定感



上質な素材



立体感と奥行き



まずは「家具選び」。無垢の木や本革など、本物の素材を使った品を選ぶと、時代に左右されない深みのある空間になります。また、家具の高さを抑えたり、数を少なく配置するなどして床面や壁面を多く見せることで「余白の美しさ」を追求してみよう。さらに、テーブルやチェストなどのテイストを揃えることで統一感が生まれ、左右対称な配置を心がけることでホテルライクな安定感が増す効果も生まれます。

次に「部屋の色合い」は、アースカラーと呼ばれるベージュ・ブラウン・グレーなどの自然な色でまとめ、アクセントとしてゴールドなど光沢を随所にプラスすると、一気に高級感がアップ！そのほか、素材や質感にこだわったクッションや小物を取り入れてみたり、照明で壁面を照らして部屋に奥行き・立体感を出すなど、ちよっとした工夫でゆとりのある、上質な空間を創り出すことができます。

さらに..

自分だけの「ゆとりッチ」は『五感』で感じる心地よさで演出！

波の音など、心拍数や脳波にシンクロするメロディで「癒し」を

部屋全体にお気に入りの香りを広げて「上品さ」を

写真提供：積水ハウス株式会社



お気軽にご相談ください！

福岡銀行本店中2階「住まいるギャラリー」では、建築士やインテリアコーディネーターの資格を持つ専門のスタッフが、住宅に関するアドバイスを行っています。ご相談は無料です。

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店 中2階 TEL 092-723-2290
営業時間/平日: 9:00~17:00 土曜: 10:00~17:00 (12月31日~1月3日は休業)



©シードーナツ

わくわく海中水族館シードーナツ

日本に2つしかない、海に浮かぶ水族館。東西50m、南北34m、総重量3,200トンの巨大なドーナツ型の船内に、アジア・ヨーロッパ・寒冷地・南米・北米・アフリカ・オセアニアの7つのゾーンがあり、それぞれの海に棲む魚たちと出会えます。

- 所在地/上天草市松島町合津6225-7 ☎0969-56-2570
- 営業時間/9時~17時
- 休館日/なし



天草御所浦ジオパーク

ジオパークとは、ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅を楽しむ場所。御所浦は「恐竜の島」「化石の島」と呼ばれ、2009年に日本ジオパークの認定を受けました。島内には恐竜足跡発見地などが点在し、御所浦白亜紀資料館の見学や化石採集体験なども楽しめます。

<御所浦白亜紀資料館>

- 所在地/天草市御所浦町御所浦4310-5 (御所浦島開発総合センター内) ☎0969-67-2325
- 開館時間/8時30分~17時
- 休館日/月曜日(祝日の場合は次の平日)・12月29日~1月3日
- アクセス/海上タクシー(あまくさ海上タクシー協会) ☎0969-67-1234



グラスボートやシーカヤックで海を満喫するもよし、江戸幕府の弾圧にも屈せず信仰を守り続けた、島人の夢が現実となった教会などを巡るもよし。子どもたちをワクワクさせる恐竜スポットや、美しい海に囲まれた天草ならではの海鮮三昧も旅を彩ります。魅力満載の天草、この夏のお出かけプランにいかがでしょう。

海と歴史と伝統が彩る、寛ぎの島時間へ



癒しも!感動も!!“イルカウォッチング”

天草市五和町の通詞島沖合は、起伏に富んだ海底と潮流に小魚などがたくさん棲む海域であることから、それをエサとする約200頭のミンナハンドウイルカの生息地。地元の人とイルカの行動を知り尽くした船頭さんが案内するクルージングでは、季節を問わず約95%の確率で野生のイルカに出会えます。イルカの生態や天草のイルカの特徴などを解説してもらえるガイド付のプラン(要予約)は、15名以上の団体であれば随時出航。「天草イルカインフォメーション」では1日5便運航しています。

- 天草イルカインフォメーション/☎0969-26-4500

天草は、東シナ海・有明海・八代海に囲まれている島々。1966年に開通した天草五橋によって本土と陸続きになりました。産業の発展や地域間交流など、福岡・長崎・熊本・鹿児島を結ぶ九州西岸地域の拠点として、多くの分野で発展が期待されています。

その一方、訪れる人にとって最大の魅力は、今や貴重な島国日本の原風景、かもしれない。天草には、ゆったりとした島時間が流れています。

本土と天草を繋ぐ北エリアは、キリシタン文化が色濃く残り、天草四郎ゆかりの地も多い、旅のスタート地点です。一方、東エリアは、脈々と受け継がれてきた島人の生活と伝説、中央エリアでは野生のイルカたちが棲む美しい自然と豊富な海の幸が待っています。また、西エリアの海岸で観られる夕陽は、日本屈指の絶景。天草最古の下田温泉や厚い信仰の歴史を語り継ぐ建物や町並みに、束の間のタイムスリップも愉しめます。

来て!
見て!

Vol.9

マイタウン
My Town

~天草編~

このコーナーでは、FFGの主要拠点である福岡・熊本・長崎の3県をご紹介します。今回は、歴史が香り、輝く夏の海が呼ぶ西九州の宝島、「天草」にフォーカスしました!

崎津まち歩きと海上のマリア像クルーズ

「天草現地ツアー」の一つ。地元ガイドさんの案内で、穏やかな羊角湾を臨む崎津教会や崎津のまちを巡った後は、漁船で海上のマリア像を見学します。休憩時間には、琉球王の使節団から伝授されたと伝わる「杉ようかん」の試食も。

- 集合場所／富津郵便局前
- 集合時間／要問合せ ●所要時間／約2時間
- 料金／1名2,000円(4名以上)
- 申込み・問合せ先／天草宝島観光協会
- ☎0969-22-2243



びわ

熊本県内で生産されるびわの約90%は天草育ち。天草のびわは大粒で濃い甘さが特長です。



天草ほんどハイヤ祭り

天草二大ハイヤの一つ。ハイヤ節の軽快なリズムによって、揃いの浴衣とねじり鉢巻き姿の参加者が街道を練り歩きます。飛び入り参加OK。海上に打ち上げられる花火は圧巻!

- 開催日／天草ほんど花火大会 7月26日(土)・天草ほんど道中総踊り 8月2日(土)
- 開催地／総踊り:国道324号 天草市役所～天草信用金庫本店
花火大会:大矢崎緑地公園(熊本県天草市本渡町広瀬)
- 問合せ先／天草ほんどハイヤ祭り実行委員会 ☎0969-23-2001



大江教会

キリスト教解禁後、初めて造られた天草を代表する教会。天草への伝道に生涯を捧げたフランス人神父ルドビゴ・F・ガルニエが、信者と協力して1933年に建造しました。

- 所在地／天草市天草町大江1782
- 開館時間／9時～17時 ●休館日／毎週月曜日
- ※日曜日の午前中はミサのため入館不可
- 問合せ先／天草宝島観光協会 ☎0969-22-2243



西平橋公園

天草下島の最西端にあり、天草灘を見下ろす公園。「日本の夕陽百選」に選ばれています。園内には遊歩道、東屋、トイレなどが整備されており、橋の見頃は橋まつりも開催。

- 所在地／天草市天草町大江



海鮮グルメ

天草はマダイやタコをはじめとする魚介類の宝庫。天然のクルマエビと、全国有数の漁獲高を誇る天草市牛深の伊勢エビも絶品です!



ハマボウ群生地

天草市の花「ハマボウ」は、海岸付近に自生するアオイ科の落葉低木。多くの地で絶滅が危惧されている中、新和町小宮地には日本最大級の群生地があり、7月から8月にかけて、鮮やかな黄色の花を咲かせます。

- 所在地／天草市新和町小宮地
- 問合せ先／天草市新和支所 ☎0969-46-2111



天の使者といわれた16歳の少年

容姿端麗なカリスマ「天草四郎」

生涯について不明な点の多い天草四郎ですが、上天草市出身の小西家の浪人、益田甚兵衛の長男で本名は益田四郎。生まれながらにしてカリスマ性があり、聡明で慈悲深く、女性が見たら一目惚れすると言われるほど容姿端麗だったと伝えられています。また、さまざまな奇跡(盲目の少女に触れて視力を取り戻した、海面を歩いたなど)を起こした伝説や、四郎が豊臣秀頼の落胤、豊臣秀綱であるとする風説も。天草四郎の真の姿を知りたい方は、「天草四郎メモリアルホール」へ!

<天草四郎メモリアルホール>

上天草市大矢野町中 977-1 ☎0964-56-5311

- 開館時間／9時～17時 ●休館日／12月29日～1月1日 1月と6月の第2水曜日



損益状況

●3行単体合算

(単位:億円)

	平成24年度	平成25年度	前年比
業務粗利益	1,890	1,811	▲78
資金利益	1,555	1,529	▲25
役務取引等利益	190	185	▲5
特定取引利益	1	1	0
その他業務利益	144	96	▲49
経費(除く臨時処理分)▲	1,009	1,008	▲2
業務純益 ^{※1}	954	668	▲285
コア業務純益 ^{※2}	769	749	▲19
信用コスト ^{※3} ▲	71	82	11

●FFG連結

経常利益	688	570	▲118
当期純利益	321	362	41

「コア業務純益」は、資金利益の減少を主因として前年比▲19億円減少し、749億円となりました。

「連結経常利益」は、コア業務純益の減少に加え国債等債券損益の減少等により、前年比▲118億円減少し、570億円となりました。

「連結当期純利益」は、前年特殊要因の剥落(退職給付信託解約損▲139億円計上)による特別損益の改善等により前年比+41億円増加し、362億円となりました。**【2年連続過去最高益】**

※1 業務純益=業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

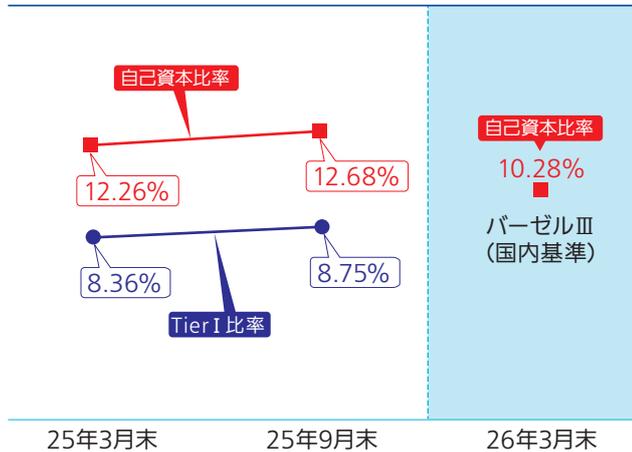
※2 コア業務純益=業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

※3 信用コスト=一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額

自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率は、26年3月末から新基準(バーゼルⅢ)に基づき算出しております。新基準に基づく自己資本比率は、10.28%となりました。

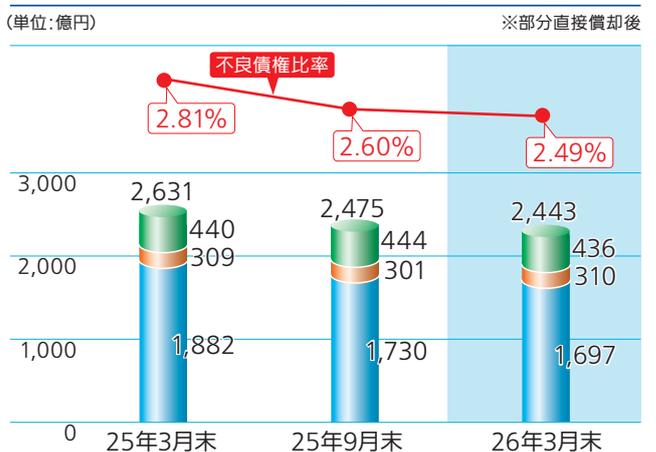
自己資本比率・Tier I 比率



不良債権の状況(3行単体合算・部分直接償却後)

不良債権残高は、25年9月末比32億円減少し、2,443億円となりました。不良債権比率は同0.11%低下し、2.49%となりました。

不良債権残高・比率



●自己資本比率
自己資本比率とは、リスク・アセット(貸出金などの資産)に占める自己資本の割合をパーセンテージで表したものです。なお、自己資本比率告示が改正され、26年3月末から新基準(バーゼルⅢ)に基づき算出しております。

●不良債権
元本や利息の返済が行われな可能性のある債権のことで、残高が多ければ、健全性にマイナスの影響を及ぼす可能性があります。

銀行の健全性を示す指標には、自己資本比率があります。国内基準では4.0%以上が求められており、自己資本比率が高いほど経営が安定し、健全性も高いと言えます。

また、貸出金に対して不良債権の残高の割合(不良債権の残高/貸出金)を示す不良債権比率が低ければ健全性に優れていると言えます。

銀行の健全性をみるには?

ココがポイント



ふくおかフィナンシャルグループ 平成25年度の業績ハイライト

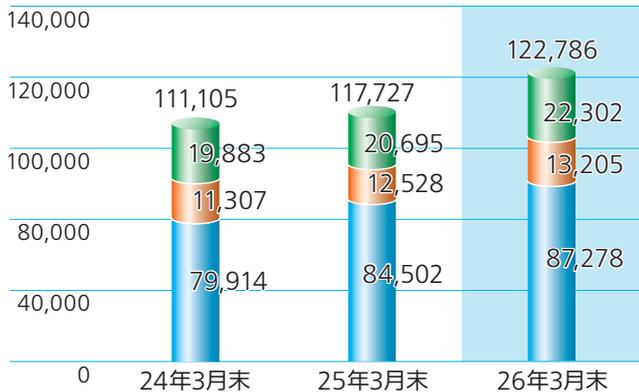
総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、3行ともに堅調に推移しました結果、前年度末比5,059億円増加し、12兆2,786億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

総資金残高(期末残高) 福岡銀行 熊本銀行 親和銀行

(単位:億円)

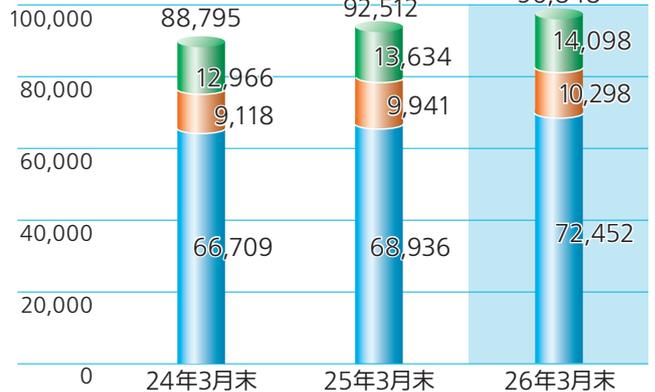


貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしました結果、前年度末比4,336億円増加し、9兆6,848億円となりました。

貸出金残高(期末残高) 福岡銀行 熊本銀行 親和銀行

(単位:億円)



ふくおかフィナンシャルグループの格付情報

	種 類	格 付	格付の定義
■ふくおかフィナンシャルグループ			
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A ⁺	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
	短期格付	a-1	短期債務履行の確実性は高い。
日本格付研究所(JCR)	長期発行体格付	A	債務履行の確実性は高い。
	短期個別債務格付	J-1	短期債務履行の確実性が最も高い。
■福岡銀行			
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	AA ⁻	信用力は極めて高く、優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期発行体格付	A ⁺	債務履行の確実性は高い。
ムーディーズ	長期預金格付	Baa1	中級と判断され、信用リスクが中程度であるがゆえ、一定の投機的な要素を含まうる債務に対する格付。
	短期預金格付	P-2	短期債務の返済能力が高い発行体(又は信用補完提供者)に対する格付。
■熊本銀行			
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A ⁺	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期発行体格付	A	債務履行の確実性は高い。
■親和銀行			
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A ⁺	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期発行体格付	A	債務履行の確実性は高い。

(平成26年6月2日現在)



福岡銀行 平成25年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成24年度	平成25年度	前年比
業務粗利益	1,344	1,302	▲42
資金利益	1,082	1,082	▲0
国内部門	1,034	1,024	▲10
国際部門	48	58	10
役務取引等利益	142	137	▲5
特定取引利益	1	1	0
その他業務利益	119	82	▲37
経費(除く臨時処理分)▲	651	654	2
業務純益	773	584	▲188
コア業務純益	599	598	▲1
経常利益	658	599	▲59
当期純利益	331	404	73
信用コスト▲	41	12	▲29

「コア業務純益」は、国内資金利益および役務取引等利益の減少を国際資金利益の増加およびその他業務利益(国債等債券損益除く)でほぼカバーし、前年比▲1億円の598億円となりました。

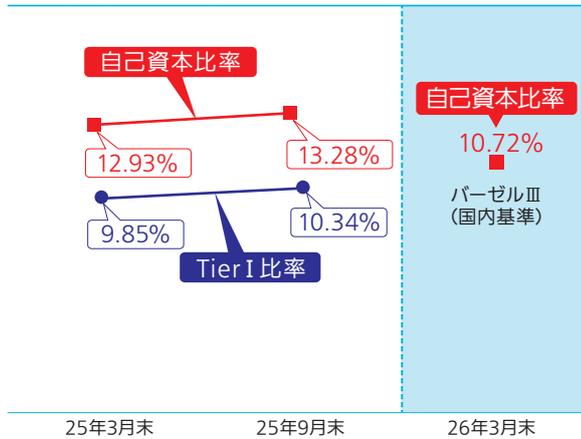
「経常利益」は、国債等債券損益の減少および借入金の上げ返済等に伴うその他臨時損失の増加により、前年比▲59億円減少し、599億円となりました。

「当期純利益」は、特別損益の改善等により、前年比+73億円増加し、404億円となりました。**【4年ぶり過去最高益】**

自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率は、26年3月末から新基準(バーゼルⅢ)に基づき算出しております。新基準に基づく自己資本比率は、10.72%となりました。

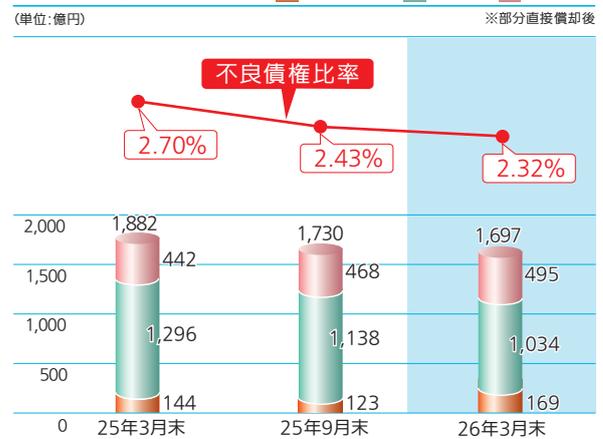
自己資本比率・Tier1比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、25年9月末比33億円減少し、1,697億円となりました。不良債権比率は同0.11%低下し、2.32%となりました。

不良債権残高・比率



総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比2,775億円増加し、8兆7,278億円となりました。

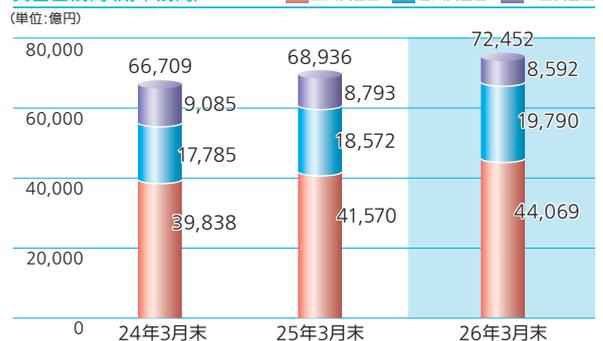
総資金残高(期末残高)



貸出金の状況

公金貸出金は減少しましたが、法人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比3,516億円増加し、7兆2,452億円となりました。

貸出金残高(期末残高)



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成24年度	平成25年度	前年比
業務粗利益	215	204	▲11
資金利益	192	186	▲7
国内部門	192	186	▲6
国際部門	1	▲1	▲1
役務取引等利益	13	14	1
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	9	4	▲5
経費(除く臨時処理分)▲	148	143	▲5
業務純益	55	30	▲25
コア業務純益	60	60	0
経常利益	31	12	▲18
当期純利益	66	50	▲16
信用コスト▲	24	30	6

「コア業務純益」は、国内資金利益の減少を経費削減等によりカバーし、前年比横ばいの60億円となりました。

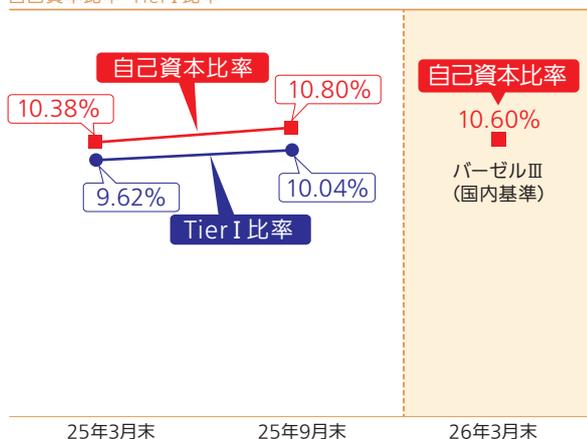
「経常利益」は、信用コストの増加および国債等債券損益の減少等により、前年比▲18億円減少し、12億円となりました。

「当期純利益」は、前年比▲16億円減少し、50億円となりました。

自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率は、26年3月末から新基準(パーゼルⅢ)に基づき算出しております。新基準に基づく自己資本比率は、10.60%となりました。

自己資本比率・Tier I比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、25年9月末比9億円増加し、310億円となりました。不良債権比率は同0.03%低下し、2.97%となりました。

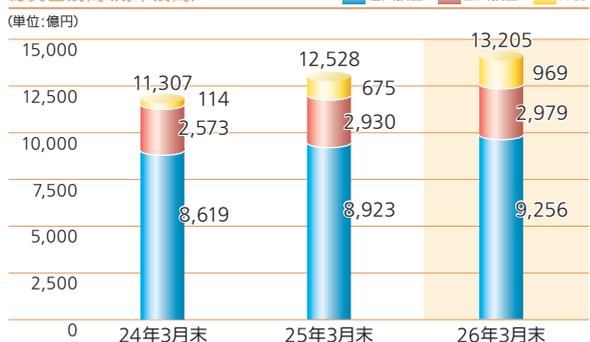
不良債権残高・比率



総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比676億円増加し、1兆3,205億円となりました。

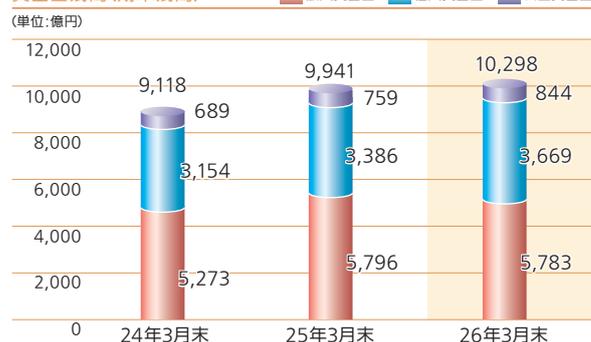
総資金残高(期末残高)



貸出金の状況

住宅ローンを中心とする個人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比356億円増加し、1兆298億円となりました。

貸出金残高(期末残高)





親和銀行 平成25年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成24年度	平成25年度	前年比
業務粗利益	331	305	▲25
資金利益	280	262	▲18
国内部門	279	262	▲17
国際部門	1	▲0	▲1
役務取引等利益	35	34	▲0
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	16	9	▲7
経費(除く臨時処理分)▲	210	211	1
業務純益	126	54	▲72
コア業務純益	110	91	▲18
経常利益	110	55	▲55
当期純利益	50	46	▲4
信用コスト▲	6	40	35

「コア業務純益」は、国内資金利益の減少を主因として、前年比▲18億円減少し、91億円となりました。

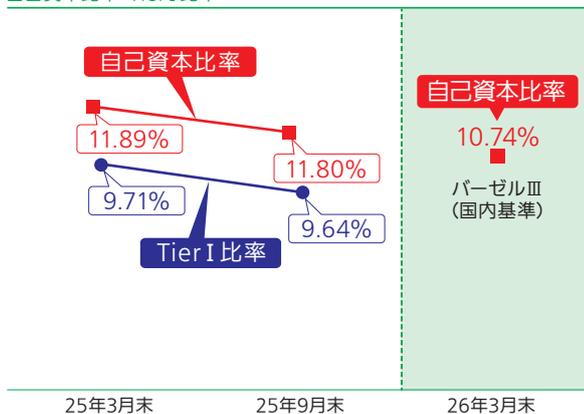
「経常利益」は、コア業務純益の減少と信用コストの増加により、前年比▲55億円減少し、55億円となりました。

「当期純利益」は、特別損益の改善等により、前年比▲4億円減少し、46億円となりました。

自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率は、26年3月末から新基準(パーゼルⅢ)に基づき算出しております。新基準に基づく自己資本比率は、10.74%となりました。

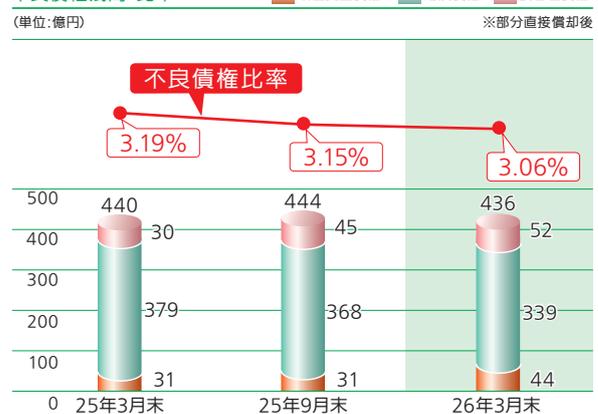
自己資本比率・Tier I 比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、25年9月末比8億円減少し、436億円となりました。不良債権比率は同0.09%低下し、3.06%となりました。

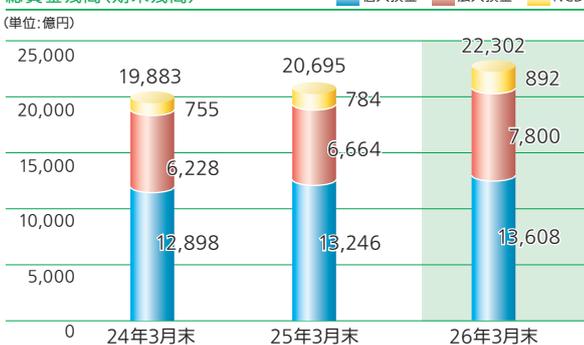
不良債権残高・比率



総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比1,607億円増加し、2兆2,302億円となりました。

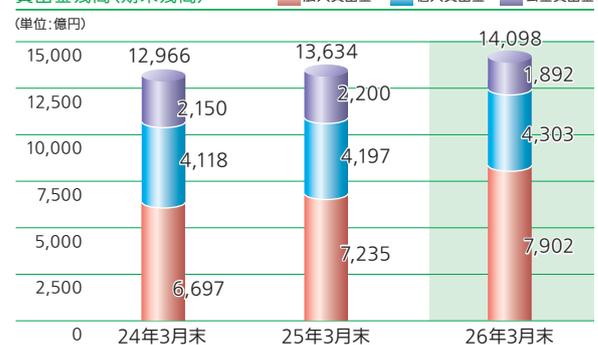
総資金残高(期末残高)



貸出金の状況

法人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比463億円増加し、1兆4,098億円となりました。

貸出金残高(期末残高)



グループ銀行プロフィール

平成26年5月末日現在

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

■連結子会社 19社

福岡銀行

■連結子会社15社

設立日 昭和20年3月31日
 本社所在地 福岡県福岡市中央区天神二丁目13番1号
 電話(代表) 092-723-2131
 資本金 823億円
 U R L <http://www.fukuokabank.co.jp/>

熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日
 本社所在地 熊本県熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
 電話(代表) 096-385-1111
 資本金 338億円
 U R L <http://www.kumamotobank.co.jp/>

親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
 本社所在地 長崎県佐世保市島瀬町10番12号
 電話(代表) 0956-24-5111
 資本金 368億円
 U R L <http://www.shinwabank.co.jp/>

ふくおかフィナンシャルグループは九州を基盤とした広域展開型地域金融グループです。

明治10年第十七国立銀行として創業。福岡市に本店を置き、主に九州全域の営業を行っている。本店の設計は建築家の黒川紀章氏によるもので、最大の特徴は吹き抜けの大きなピロティ。「ふくぎん本店広場」として、明るく見通しのよい芝生広場と多目的に利用可能なスペースを備え、地域の皆さまが気軽にご利用いただける開放的な憩いの公共空間を提供する。

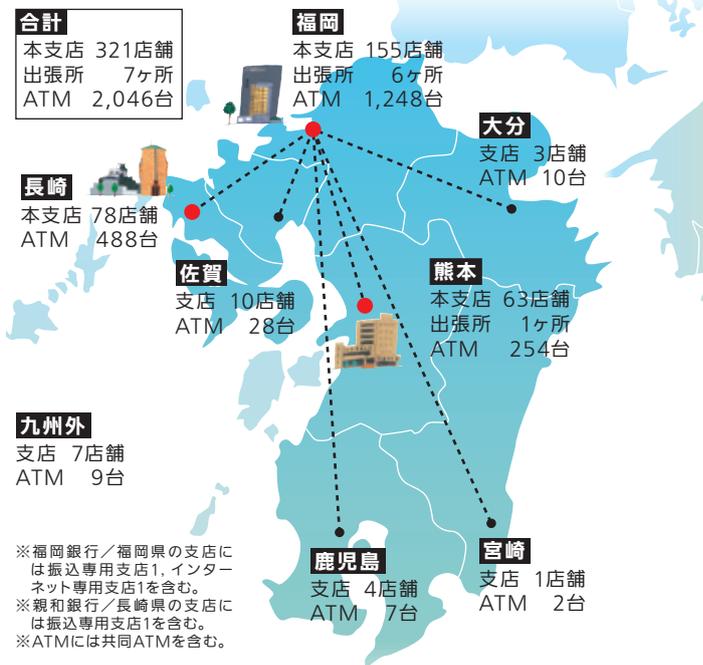
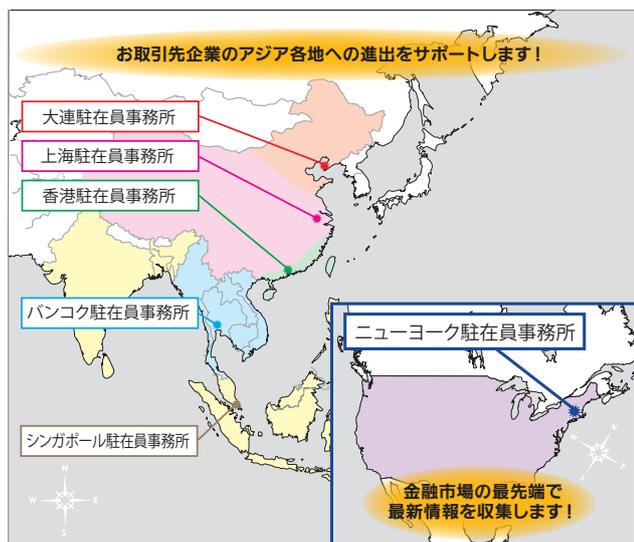
平成4年、熊本銀行と肥後ファミリー銀行が合併し、株式会社熊本ファミリー銀行が誕生。熊本市に本店を置き、熊本県内を主なエリアとして営業を行っている。そして、平成25年4月1日、熊本ファミリー銀行はFFG設立5周年を機に、「熊本の銀行」であることを改めて宣言すべく「熊本銀行」へ商号を変更。これからも地域と地元のお客さまへの貢献を目指していく。

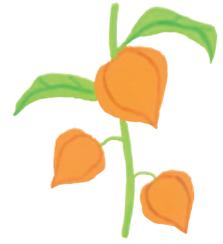
佐世保市に本店を置き、長崎県内を主なエリアとして営業を行っている。明治12年設立の第九十九国立銀行を起源とし、以来30数回の統合を経て昭和14年株式会社親和銀行が誕生。平成15年には九州銀行と合併。行名は設立当時の副頭取であり2代目頭取、その後大蔵大臣を務めた北村徳太郎が命名した。本店の建築は、哲学的と称される建築家・白井晟一氏による設計。

FFGのネットワーク

平成26年5月末日現在

海外ネットワーク





FFG 福岡ファイナンシャルグループ



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C092592



商号等	株式会社福岡銀行	株式会社熊本銀行	株式会社親和銀行
登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	九州財務局長(登金)第6号	福岡財務支局長(登金)第3号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会	日本証券業協会